

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民参加による水循環・水環境計画策定事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	01	①〈自然との共生〉四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ	
	01	1 自然を守るしくみづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 市民 】		
目的・目標		事業の概要	
水循環・水環境計画を策定し、市民が関心を持ち、水量の確保や水質保全に努めています。		水辺に親しむ環境を再生するため、市民参加による水循環・水環境計画を策定します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	活動団体との打合せ回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			-	3	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	水循環・水環境計画策定進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19:計画書(案)作成65%、H20:計画書策定35%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			65	100	-			
成果指標②	指標名	活動団体数						単位	団体
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			-	3	4			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
内部検討会を開催し、計画(案)及び市民公募要領(案)を策定した。また、横浜国立大学大学院環境情報研究院と協働で調査研究を進めた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民にとって河川や地下水の水量確保、水質の浄化、水辺環境や生態系の保全に大きな役割を果たす。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	自然を守る仕組みに対する保全活動を推進できる。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域、流域の個性を生かす取り組みが出来る。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	横浜国大大学院環境情報研究院との共同研究を進める。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 庁内委員会各課の役割分担を整理していく。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				参加市民の募集・計画(案)の作成	計画書策定・参加市民との意見交換	計画の運用		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,196	4,196	4,196	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,196	4,196	4,196	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 公募市民とともに、策定した計画を推進する。	
平成21年度 of 取組方針	
計画推進のために、市民とのワークショップを開催する。	
課長コメント	若干遅れたが、今後検討内容を絞る方向で進め、市民参加の委員選出を行いたい。